

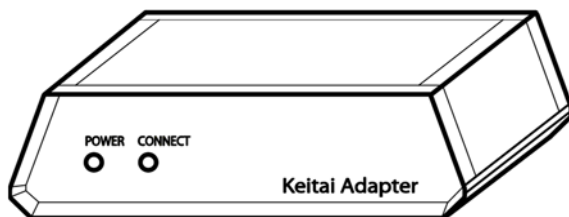
携帯電話－固定電話アダプタ (FOMA ケーブル接続)

製品型番 : TTR-ADPT1-FOMA

携帯電話－固定電話アダプタ (Bluetooth/FOMA ケーブル接続両用)

製品型番 : TTR-ADPT1-BTFOMA

## 取扱説明書



## 目次

|          |  |          |
|----------|--|----------|
| <b>1</b> | <b>使用上の注意</b> .....  | <b>1</b> |
| <b>2</b> | <b>使用前の準備</b> .....  | <b>2</b> |
| 2.1      | 接続 .....   | 2        |
| 2.2      | FOMA 携帯電話の取り付けと取り外しについて .....                                | 2        |
| 2.3      | 前面パネルのインジケータについて .....                                       | 2        |
| 2.4      | 接続の確認 .....  | 3        |
| 2.5      | ナンバーディスプレイの設定 .....  | 3        |
| 2.6      | 携帯電話の設置場所について .....  | 3        |
| 2.7      | 市外局番の設定 .....  | 3        |
| 2.8      | 特定の番号への発信の許可・禁止の設定 .....                                     | 3        |
| 2.9      | プレフィックス番号の設定 .....   | 4        |
| 2.10     | 通話時間制限の設定 .....  | 4        |
| 2.11     | 音量・音質の調整 .....   | 4        |
| <b>3</b> | <b>通常の使用方法</b> .....   | <b>5</b> |
| 3.1      | 着信 .....   | 5        |
| 3.2      | 発信 .....   | 5        |
| 3.3      | FOMA 携帯電話の再発信規制と自動再起動について .....                              | 5        |
| 3.4      | FOMA 携帯電話の充電モードについて .....                                    | 6        |
| 3.5      | 電源断（停電など）からの復帰について (FOMA 携帯電話の場合) .....                      | 6        |
| 3.6      | パスワード機能 .....  | 6        |
| <b>4</b> | <b>エコーキャンセラ機能</b> .....                                      | <b>7</b> |
| 4.1      | エコーキャンセラ 方式（1） .....   | 7        |
| 4.2      | エコーキャンセラ 方式（2） .....   | 7        |
| <b>5</b> | <b>Bluetooth/FOMA ケーブル接続両用 (TTR-ADPT1-BTFOMA) について</b> ..... | <b>8</b> |
| 5.1      | 接続について .....   | 8        |
| 5.2      | 着信について .....   | 8        |
| 5.3      | 発信について .....   | 8        |
| 5.4      | 受話・送話音量の設定 .....   | 8        |

|          |                          |           |
|----------|--------------------------|-----------|
| <b>6</b> | <b>設定モード</b> .....       | <b>9</b>  |
| 6.1      | 受話・送話音量の設定.....          | 9         |
| 6.2      | ノイズ低減.....               | 9         |
| 6.3      | エコーキャンセラ 方式 (1) の設定..... | 10        |
| 6.4      | エコーキャンセラ 方式 (2) の設定..... | 10        |
| 6.5      | 極性設定.....                | 10        |
| 6.6      | ナンバーディスプレイ.....          | 10        |
| 6.7      | 固定電話の回線種別.....           | 10        |
| 6.8      | ダイヤル桁間タイマ.....           | 11        |
| 6.9      | 発着信許可.....               | 11        |
| 6.10     | 再発信規制時 携帯電話自動再起動.....    | 11        |
| 6.11     | 充電モード.....               | 11        |
| 6.12     | 市外局番自動付加.....            | 11        |
| 6.13     | 発信制限 (既定番号・無料通話).....    | 12        |
| 6.14     | 発信制限 (既定番号・有料通話).....    | 12        |
| 6.15     | 発信制限 (個別番号).....         | 13        |
| 6.16     | 発信番号プレフィックス.....         | 13        |
| 6.17     | 通話時間制限 (通知音).....        | 13        |
| 6.18     | 通話時間制限 (強制切断).....       | 14        |
| 6.19     | 再起動.....                 | 14        |
| 6.20     | 設定初期化.....               | 14        |
| 6.21     | パスワード.....               | 14        |
| 6.22     | バージョン番号確認.....           | 14        |
| <b>7</b> | <b>付録</b> .....          | <b>15</b> |
| 7.1      | 仕様.....                  | 15        |
| 7.2      | 保証について.....              | 15        |

## 1 使用上の注意

携帯電話—固定電話アダプタ (FOMA ケーブル接続) (以下「本製品」) は、携帯電話を 1 回線収容し、接続した内線電話機の操作により携帯電話回線での発着信および音声通話を実現するものです。

本製品は空調管理された室内での設置・使用・保管を想定しています。

下記のような場所には設置・使用・保管をしないでください。

- ・極端に高温になる場所 (直射日光の当たる場所や熱源の近くなど)
- ・極端に低温になる場所
- ・湿度の高い場所 (風呂場や加湿器のそば・風雨の当たる場所など)
- ・不安定な場所
- ・極端に振動が激しい場所
- ・強い磁界・電界が存在する場所 (家庭用コードレスホンや無線機器・電子レンジ・IH 調理機器等の近くなど)
- ・空気の汚れが多い場所 (ほこりや油飛びなど)
- ・気化した薬品や可燃性ガスなどが充満した場所

また、下記のような使用方法に従ってください。

- ・使用前の準備・通常の使用方法については、本取扱説明書をよく読み、記載内容に従ってください。
- ・付属の AC アダプタ以外は使用しないで下さい。
- ・家庭用 AC100V 電源以外では使用しないで下さい。
- ・AC アダプタの本体・ケーブル・コネクタ部分が破損している場合には使用を中止し、販売元に修理または交換を依頼してください。
- ・携帯電話接続ケーブルやそのコネクタ部分が破損している場合には使用を中止し、販売元に修理または交換を依頼してください。
- ・発煙や異臭がする際にはすぐに AC アダプタ・全てのコネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・水が装置内部に入った場合、すぐに AC アダプタ・全てのコネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・濡れた手で本体やコネクタに触らないで下さい。
- ・コネクタの端子に触ったり、導電性異物や薬品を付着させたりしないで下さい。
- ・雷が激しい時は、AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。
- ・高い場所から落下させないで下さい。
- ・分解・改造・ハンダ付けなどをしてしないでください。

免責事項：

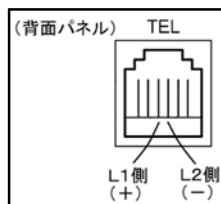
- ・本製品の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故などの外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の不具合・その他過失などによって生じた通話時間超過などによる金銭的・その他の損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の故障等による物損事故 (接続した携帯電話・固定電話等や周辺の品物が連鎖的に故障した場合など) には、本製品の保証期間であっても、本製品およびその付属品以外については、当方は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品の故障等による人身事故につきましては、当方は一切その責任を負いかねます。

## 2 使用前の準備

### 2.1 接続

以下の順序で本製品背面の各端子にケーブルを接続して下さい。

- 1) 背面中央の「FOMA」と書かれたコネクタに付属の携帯電話接続ケーブルを差し込んでください。  
また、固定ネジ (2カ所) を締めて下さい。
- 2) 本製品背面のモジュージャック (TEL) を固定電話の回線入力端子や、ビジネスホンのアナログ外線端子 (入力) と接続してください。  
**※この端子はアナログ回線の出力端子です。ビジネスホンの内線端子 (出力) や光ルーター等の内線端子 (出力) とは絶対に誤接続しないよう、十分に確認してください。(本製品が故障します)。**  
ビジネスホン主装置のアナログ外線端子等、極性がある場合は右図の通り接続してください。  
配線の都合で逆の接続になる場合には、本製品の極性設定 (6.5 節) を使用して下さい。
- 3) AC アダプタをコンセントに差し込んで下さい。  
そして、アダプタ背面の DC ジャック (DC12V) に DC プラグを差し込んで下さい。
- 4) 携帯電話の電源をオンにした状態で携帯電話接続ケーブルを携帯電話に差し込んで下さい。(2.2 節参照)



### 2.2 FOMA 携帯電話の取り付けと取り外しについて

FOMA 携帯電話の電源を入れたまま、取り付け・取り外しが可能です。

取り付けるには、携帯電話コネクタの2カ所のロックが「カチッ」と音がするまで、しっかりと奥まで差し込んで下さい。

取り外すには、FOMA コネクタの左右にあるロックボタンを押したまま、抜いて下さい。

携帯電話コネクタや携帯電話接続ケーブルは精密にできておりますので、抜き差し時などには乱暴に取り扱わないよう注意してください。

携帯電話接続ケーブルやそのコネクタ部分が破損している場合には使用を中止し、販売元に修理または交換を依頼してください

### 2.3 前面パネルのインジケータについて

前面パネルのインジケータの意味は以下の通りです。

POWER (赤色) : 電源ランプです。本製品に電源が供給されている間、点灯します。

CONNECT (緑色) : 携帯電話の接続状態を示します。各点灯状態は以下の通りです。

消灯 : 携帯電話との接続が切れており、通話できない状態。

点灯 : 携帯電話が接続されており、通話可能な状態。

点滅 : FOMA 携帯電話を再起動中。(再発信規制時自動再起動の場合。3.3 節参照)

## 2.4 接続の確認

コネクタの接続が完了したら、固定電話の受話器を上げてください。

コネクタ接続後、アダプタと FOMA 携帯電話の間で通信が行われ、ハンズフリー接続（本製品から発信・音声通話を操作するための機能）が確立します。

- 1) FOMA 携帯電話のハンズフリー接続が完了していると、「ツーン」と連続音が鳴ります。
- 2) FOMA 携帯電話のハンズフリー接続が完了していない場合には「ブー・ブー…」という高い音程の断続音が鳴ります。
  - ・前面パネルの「CONNECT」の LED 点灯・消灯でも、接続を確認できます。
  - ・接続時には FOMA 携帯電話の画面にハンズフリー接続のアイコンが表示されます。（アイコンについては携帯電話の取扱説明書を参照下さい）。

## 2.5 ナンバーディスプレイの設定

ナンバーディスプレイ機能（3.1 節参照）の有効／無効を設定して下さい。初期設定では有効になっています。（6.6 節参照）

接続した固定電話（ビジネスホン）にナンバーディスプレイ機能が無い場合やオフになっている場合には、この設定は必ず無効にして下さい。※誤って有効にすると着信が正常に動作しない場合があります。

## 2.6 携帯電話の設置場所について

携帯電話は手に持って通話するように設計されています。金属製の台の上に直置きするなど、金属と接して設置した場合には電波感度が低下し、通話が安定しない場合があります。

使用中に携帯電話画面のアンテナ本数が少ない場合には、金属から離して設置したり、設置場所を移動するなどして、アンテナ本数が多い状態で使用してください。

## 2.7 市外局番の設定

市外局番の無い電話番号をダイヤルした際、自動的に市外局番を付けて発信することができます。

電話機を設置する地域の市外局番を設定すると（6.12 節参照）、固定電話と同様に市外局番無しで発信できます。

市外局番を付加するのは 1～9 で始まる 4 桁以上の電話番号へ発信する場合です。

### 特定の番号への発信の許可・禁止の設定

特定の番号で始まる電話番号へ発信の許可／禁止を設定できます。

- ・あらかじめ設定してある電話番号に対する通話を許可するには 6.13 節を参照してください。ここに列挙してある電話番号以外にも通話を許可したい場合は 6.15 節に従い設定して下さい。
- ・あらかじめ設定してある電話番号に対する発信を禁止するには 6.14 節を参照してください。初期設定でも、いくつかの番号は発信禁止に設定されていますので、確認してください。ここに設定されている番号は、各携帯電話会社の音声通話定額プランの対象外となる可能性のある電話番号です。ここに列挙してある電話番号以外にも通話禁止にしたい場合は 6.15 節に従い設定して下さい。

## 2.9 プレフィックス番号の設定

MVNO の通話定額プランなどを本製品からの発信に適用するためには、電話番号の前にプレフィックス番号を付けて発信する必要があります。(プレフィックス番号はサービス毎に異なります。各サービス会社にお問い合わせ下さい。)

プレフィックス番号を設定すると (6.16 節参照)、ダイヤルした番号の先頭に設定したプレフィックス番号を付けて発信します。

## 2.10 通話時間制限の設定

通話定額プランに時間制限がある場合など、通話時間を制限したい場合に下記の動作を設定することができます (発信通話に対して動作します。着信通話には適用されません)。

- ・通話開始後、設定した時間に達すると受話器から「ブブブ... ブブブ...」という音で通知するように設定できます。(6.17 節参照)
- ・通話開始後、設定した時間に達すると強制的に通話を切断するように設定できます。(6.18 節参照)

注意：設定を誤ると定額料金を超えて通話する可能性があります。また、通話回数の制限には対応していません。ご自身の通話定額プランの内容や本機能についてよく理解・確認してから使用して下さい。

## 2.11 音量・音質の調整

実際に通話を行い、音量や音質の調整を行って下さい。

この際、発信元の受話器と通話先の受話器を近づけて通話を行うと、両方のマイクに音声が入り、正しいテストができない場合がありますので、別の場所 (部屋) にある通話先電話機と通話を行うようにしてください。

主な調整項目は、受話音量・送話音量 (6.1 節参照) とエコーキャンセラ (4 章参照) です。

設定の変更は、一旦通話を終了し、設定モード (5.1 章参照) にて行う必要があります。

使用する電話機で音量調整ができる場合には、エコーキャンセラの調整方法 (4 章) を参照の上、電話機の音量も調整してください。

調整が終了したら、実際の運用状態 (設置場所・使用機器・様々な通話先電話機・操作方法などの条件) にて、音質・機能・性能に問題が無いが、十分なテストを行って下さい。

※通話にノイズが入る場合の注意事項：

- ・家庭用電話機 (無線子機付き) の親機アンテナに本製品を近づけると通話にノイズが入る場合がありますので、離して設置してください。

## 3 通常の使用方法

### 3.1 着信

携帯電話に着信があると接続した固定電話の呼び出し音が鳴ります。

本製品に接続した固定電話がナンバーディスプレイ対応で、かつ本製品のナンバーディスプレイ機能がオンに設定してあり (6.6 節参照)、かつ発信元が番号通知を有効にしている場合、発信元の電話番号が固定電話に表示されます。

受話器を上げると通話を開始します。受話器を置くと通話が終了します。

### 3.2 発信

固定電話の受話器を上げて、受話器から「ツー」という音がするのを確認します。

(この際、「プー・プー…」という高い音程の断続音が聞こえたら、FOMA 携帯電話と接続できていません。)

次に、固定電話で電話番号を入力します。しばらく経つと自動的に発信します。(番号入力終了から発信するまでの時間は設定できます。6.8 節参照)。

プッシュホンの場合、電話番号の最後に「#」を入力するとすぐに発信します。

発信操作の後、受話器から以下のアナウンスが流れて発信できない場合があります。

- ・「発信規制です」: 同じ番号に何度か連続して発信し、通話できなかった場合。(3.3 節参照)
- ・「発信制限です」: 本製品の発信制限機能に該当する番号に発信した場合。(6.14 節、6.15 節参照)

また、携帯電話の操作により発信後、固定電話で通話することもできます(携帯機器の種類により出来ない場合があります)。以下の操作を行って下さい。

固定電話の受話器を置いたまま、携帯電話で発信操作をしてください。少し (1,2 秒) 経ってから受話器を上げてください。受話器から発信中の音が聞こえ、以後は通常の実信と同じです。

### 3.3 FOMA 携帯電話の再発信規制と自動再起動について

同じ番号に続けて発信し、何らかの理由で相手が電話に出ないことが何度か続いた場合、一時的に FOMA 携帯電話からその電話番号に発信できなくなる場合があります。これは、自動装置による頻繁な再発信を規制する携帯電話会社側の仕組みです。この規制がかかった場合、受話器から「発信規制です」というアナウンスが流れます。

発信規制を解除して、発信可能にする方法は以下の通りです。

- ・しばらく時間をあけてから (数分かかる場合もあります)、再度発信する
- ・携帯電話を再起動する

(発信規制時、別の番号には発信可能な場合もあります。)

本製品には、発信規制時に携帯電話の再起動を自動的に行う機能があり、標準でオンになっています。(6.10 節参照)。

自動再起動が働いた場合の動作は以下の通りです。

- ・電話の発信操作後、再発信規制がかかった場合には、「発信規制・再起動中」というアナウンスが流れます。
- ・そして、自動的に FOMA 携帯電話の電源が切れ、しばらく経過すると自動的に電源が入ります。
- ・その後、自動的に FOMA 携帯電話とハンズフリー接続され、受話器の音が「ツー」音に変わります。
- ・この状態になってから、再度電話をかけてください。



### 3.4 FOMA 携帯電話の充電モードについて

本製品に接続されている FOMA 携帯電話は充電されます。

携帯電話の種類によっては充電中に通話音声にノイズが入る場合があるため、通話中には充電を停止することができます。

初期設定では「通話中には充電しない。ただしバッテリーレベルが低下した時には充電する。」になっています。 (設定方法は 6.11 節参照)

### 3.5 電源断（停電など）からの復帰について (FOMA 携帯電話の場合)

停電などで AC 電源が切れた後、電源が復帰すると FOMA 携帯電話の充電が開始され、携帯電話の電源が自動的にオンになります。

ただし、携帯電話のバッテリーが完全に無くなっている場合、使用可能になるまでに数分かかる場合や、手動で携帯電話の電源ボタンを押す必要が生じる場合があります。

### 3.6 パスワード機能

パスワード機能を使用すると以下の動作に制限をかけることができます。

不特定多数の人が使用する用途の場合などにご利用下さい。

- ・設定モード (5.1 章) を開始するにはパスワードの入力が必要になります。

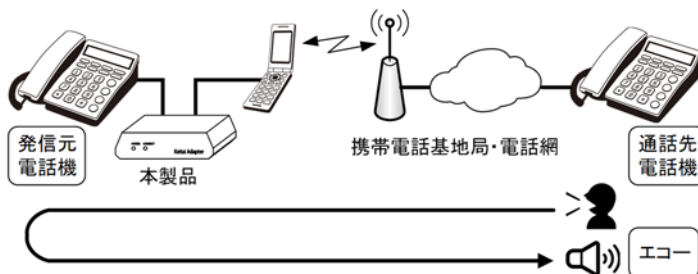
パスワードの設定・解除については 6.21 節を参照して下さい。

## 4 エコーキャンセラ機能

2線式電話機を使用したシステムでは原理上、エコー（自分が話した声が少し遅れて自分に聞こえる現象）が発生する場合があります。本製品には、エコーを軽減させる機能が搭載されています。

本機能で軽減できるのは下図に示されている、通話先電話機にて聞こえるエコーです。発信元電話機にて聞こえるエコーには効果がありません。

エコーの発生は発信元電話に関係するため、本製品に接続する電話機に合わせた調整が必要になる場合があります。



### 4.1 エコーキャンセラ 方式（1）

発信元電話機からの出力にエコーが現れた際に、エコーを打ち消すような信号を加えて携帯電話回線側に送信することで、エコーを除去する方式です。

基本的には初期設定（機能有効）のまま使用して下さい。（6.3 節参照）

### 4.2 エコーキャンセラ 方式（2）

本製品からの送信音声（方式（1）にて取り切れなかったエコーを含む信号）が設定したしきい値を下回った場合、設定した割合で送信音声を小さくすることで、エコーを軽減します。

この方式には欠点もあり、エコー（発信元電話機で発生）と発信元電話機の送信音声小さい場合との区別が難しく、必要な音声まで小さくしてしまい、発信元→通話先方向の音声途切れ途切れになる場合があります。

エコーや音途切れが発生した場合には以下の調整を行ってください。（6.4 節参照）

調整を行う際には、発信元電話機と通話先電話機を離して行き、また、発信元・通話先で同時に話せず、片方向の通話にて行って下さい。

- ・発信元電話機の受信音量の設定を大きくして下さい。その際、受話音量が大き過ぎる場合には、本製品の受信音量（機能番号 111）の設定を小さくして下さい。
- ・発信元電話機で送信音量の調節ができる場合には設定を大きくして下さい。その際、通話先に聞こえる音量が大き過ぎる場合には、本製品の送信音量（機能番号 112）の設定を小さくして下さい。
- ・機能番号 172 の設定は初期値のまま、機能番号 173 の設定値を小さい値から少しずつ大きくしていき、通話先電話機にてエコーが発生しない値を探して下さい。エコー除去が十分で無い場合、機能番号 172 の値を 1 つ大きくし、再度機能番号 173 の値を小さい値から順に探して下さい。
- ・上記の設定値で、通話先電話機にて音声の途切れが発生しないことを確認してください。音途切れが発生する場合には機能番号 173 の値を小さくするか、機能番号 172 の値を小さくしてください。
- ・エコー・音途切れの両方を完全に無くすることができない場合もあります。その場合には、音途切れしないことを優先する設定をお勧めします。
- ・以上の調整が終了したら、大声・小声で話した場合や、双方が同時に話した場合など、実際の運用状態にて、エコーや音途切れが発生しないか確認してください。

## 5 Bluetooth/FOMA ケーブル接続両用(TTR-ADPT1-BTFOMA)について

本章では携帯電話—固定電話アダプタ (Bluetooth/FOMA ケーブル接続両用) 特有の動作について説明します。

Bluetooth 接続に関する説明については、本説明書の内容や下記内容と合わせて「携帯電話—固定電話アダプタ (Bluetooth 接続) 取扱説明書」も参照して下さい。

### 5.1 接続について

Bluetooth 携帯電話と FOMA 携帯電話(ケーブル接続)をそれぞれ 1 台ずつ接続し、2 台同時待ち受けできます。(Bluetooth 接続の 2 台同時待ち受けの設定をした場合は、合わせて 3 台同時待ち受けできません)。同時に通話出来るのは 1 台・1 通話のみです。

※ 1 台の携帯電話を、FOMA ケーブル接続と同時に Bluetooth 接続しないでください。その場合の動作は保証できません。

※ FOMA 携帯電話が接続されている場合には、Bluetooth が切れた際に再接続する方法のうち、「固定電話の受話器を上げて自動的に接続する方法」は使用できません。

### 5.2 着信について

Bluetooth 携帯電話・FOMA 携帯電話のどちらかに着信があった場合、固定電話に着信があり、受話器を上げると通話ができます。

※ 片方の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があった場合には、その着信は無視されます。

### 5.3 発信について

FOMA と Bluetooth の両方の携帯電話が接続されている場合、固定電話の操作による発信は FOMA 携帯電話側から発信されます。

Bluetooth 携帯電話側から発信するには、FOMA 携帯電話の「発着信許可(6.9 節)」の「発信」を「禁止」に設定して下さい。(設定値を「2」に設定して下さい)。

### 5.4 受話・送話音量の設定

FOMA 携帯電話と Bluetooth 携帯電話で音量のバランスが悪い場合、以下の調整を行って下さい。

111, 112 番は電話機の受話・送話に対する音量設定です (FOMA/Bluetooth 両方に関係します)。

113, 114 番は Bluetooth のみに関係する音量設定です。

まず、FOMA 携帯電話を使用して 111, 112 番の音量を調節し、その後に Bluetooth 携帯電話を使用して 113, 114 番の音量を調節してください。

| 機能番号 | 設定値        |   |
|------|------------|---|
| 111  | 0~9<br>(2) | 受話音量を設定します。(0:最小, 9:最大)<br>最終的な受話音量は、113 番と本設定を足し合わせた設定になります  |
| 112  | 0~9<br>(4) | 送話音量を設定します。(0:最小, 9:最大)<br>最終的な送話音量は、114 番と本設定を足し合わせた設定になります。 |
| 113  | 0~9<br>(2) | Bluetooth 通話時の受話音量を設定します。(0:最小, 9:最大)                         |
| 114  | 0~9<br>(4) | Bluetooth 通話時の送話音量を設定します。(0:最小, 9:最大)                         |

※ 「設定値」欄の () 内の数字は出荷時の初期値です。

## 6 設定モード

本製品には各種設定があり、以下の手順で設定値の確認や変更をすることができます。  
各設定値は、電源が切れても保存されます。

- 1) 設定を開始するには、受話器を上げて「0000」を入力します。(受話器を上げた時の発音音は「ツー」または「プー・プー…」のどちらでも構いません)。
- \* ) パスワード(3.6節)が設定されている場合、「設定モードです。4桁の番号を入力してください」とアナウンスが流れるので、4桁のパスワードを入力してください。
- 2) 「設定モードです。3桁の機能番号を入力して下さい」とアナウンスが流れるので、以下の通り、アナウンスに従って入力して下さい。アナウンスの途中でも入力可能です。
- 3) 設定したい機能の3桁の機能番号(本章に記載)を入力して下さい。
- 4) 現在の設定値が読み上げられます。
- 5) 各機能ごとに決められた桁数の設定値(本章に記載)を入力して下さい。  
または、「#」を入力すると設定値は変更せず、2)に戻ります(一部機能番号を除く)。
- 6) 設定に成功すると「設定しました」とアナウンスが流れます。
- 7) アナウンスに従い、再び2)から繰り返すか、設定が完了したら受話器を置いて下さい。
- \* ) 途中で設定を中断するには受話器を置いて下さい。

### 6.1 受話・送話音量の設定

| 機能番号 | 設定値        |                         |
|------|------------|-------------------------|
| 111  | 0~9<br>(2) | 受話音量を設定します。(0:最小, 9:最大) |
| 112  | 0~9<br>(4) | 送話音量を設定します。(0:最小, 9:最大) |

### 6.2 ノイズ低減

| 機能番号 | 設定値                  |   |
|------|----------------------|---|
| 221  | 0~9<br>(4)           | 受話音声が無音のときの微弱な雑音を減らします。<br>221の設定レベルより受話音声小さい期間が222の設定値の期間(単位:5ミリ秒)続くと、無音とみなしミュートします。 |
| 222  | 001~<br>999<br>(100) | 221の設定値を大きくすると雑音が減りますが、音声途切れやすくなります。<br>222の設定値が短いと通話中にミュートが切り替わり、雑音が入る場合があります。       |
| 223  | 0~9<br>(0)           | 送話音声が無音のときの微弱な雑音を減らします。<br>223の設定レベルより送話音声小さい期間が224の設定値の期間(単位:5ミリ秒)続くと、無音とみなしミュートします。 |
| 224  | 001~<br>999<br>(100) | 223の設定値を大きくすると雑音が減りますが、音声途切れやすくなります。<br>224の設定値が短いと通話中にミュートが切り替わり、雑音が入る場合があります。       |

※「設定値」欄の()内の数字は出荷時の初期値です。

### 6.3 エコーキャンセラ 方式（１）の設定

| 機能番号 | 設定値         | 説明   |
|------|-------------|--|
| 171  | 0, 1<br>(1) | メインのエコーキャンセラを有効にします。(1で有効)<br>パラメータはありません。 |

### 6.4 エコーキャンセラ 方式（２）の設定

| 機能番号 | 設定値           | 説明  |
|------|---------------|---|
| 172  | 0～9<br>(2)    | 方式（１）のエコーキャンセラで除去できなかったエコーを軽減します。<br>9が最も大幅に低下させ、1が最も弱く効きます。<br>0を設定すると方式（２）は無効になります。           |
| 173  | 0～9<br>(4)    | 送信音声小さいと判断するレベル（しきい値）を設定します。9が最大、0が最小です。<br>大きくするとエコー除去が強効しますが、大き過ぎると音声途切れる場合がありますので適宜調整してください。 |
| 174  | 00～99<br>(10) | 音声小さくなってから実際に送信レベルを低下させるまでの時間を設定します。設定単位は25ミリ秒です。(10のとき250ミリ秒=0.25秒)。                           |

### 6.5 極性設定

| 機能番号 | 設定値         | 説明   |
|------|-------------|--|
| 871  | 0, 1<br>(0) | モジュラープラグの配線に極性がある電話機（一部のビジネスホンなど）において、配線の都合で極性が逆になる場合には、本設定にて極性を反転させることができます。<br>0:極性反転しない<br>1:極性反転する |

### 6.6 ナンバーディスプレイ

| 機能番号 | 設定値         | 説明   |
|------|-------------|--|
| 121  | 0, 1<br>(1) | ナンバーディスプレイ機能の有効・無効を設定します。<br>接続する固定電話のナンバーディスプレイ機能の有無に合わせて設定して下さい。<br>0:無効<br>1:有効 |

### 6.7 固定電話の回線種別

| 機能番号 | 設定値        | 説明  |
|------|------------|---|
| 122  | 1～3<br>(1) | プッシュ式・ダイヤル式電話機のどちらでも、初期設定でほとんどの場合動作しますが、万が一動作しない場合に設定して下さい。<br>1:プッシュ回線<br>2:ダイヤル回線(20pps)<br>3:ダイヤル回線(10pps) |

## 6.8 ダイアル桁間タイマ

| 機能番号 | 設定値           |  |
|------|---------------|--|
| 123  | 05~99<br>(25) | ダイアル終了から発信までの待ち時間を設定します。<br>ダイアルの途中で発信してしまう場合、大きめ値を設定して下さい。<br>単位は0.1(秒)です。0.5秒~9.9秒の値を設定できます。   |
| 127  | 0, 1<br>(1)   | 下記に該当する電話番号へ発信する際、規定の桁数を入力後、すぐに発信します。発信までの時間を短縮したい場合に有効にしてください。<br>市外局番自動付加(6.12節)を設定してある場合は自動付加分も含めて判断します。<br>・0XX(X:0以外の数字)で始まる10桁の番号(固定電話等)<br>・050, 060, 070, 080, 090で始まる11桁の番号(IP電話・携帯電話等)<br>0:無効<br>1:有効 |

## 6.9 発着信許可

| 機能番号 | 設定値        |   |
|------|------------|---|
| 211  | 0~3<br>(3) | FOMA 携帯電話での発信・着信の許可・禁止を設定します。<br>0:発信禁止, 着信禁止<br>1:発信許可, 着信禁止<br>2:発信禁止, 着信許可<br>3:発信許可, 着信許可 |

## 6.10 再発信規制時 携帯電話自動再起動

| 機能番号 | 設定値         |   |
|------|-------------|---|
| 212  | 0, 1<br>(1) | 携帯電話会社による再発信規制がかかった場合にこの機能が有効になっていると、FOMA 携帯電話が自動的に再起動し、発信できる状態になります。<br>0:無効, 1:有効 |

## 6.11 充電モード

| 機能番号 | 設定値        |  |
|------|------------|--|
| 213  | 0~3<br>(2) | FOMA 携帯電話を充電する条件を設定します。<br>0:常に充電しない<br>1:通話中には充電しない。(非通話中は常に充電します)。<br>2:通話中には充電しない。ただしバッテリーレベルが低下した時には充電する。(非通話中は常に充電します)。<br>3:常に充電する |

## 6.12 市外局番自動付加

| 機能番号 | 設定値               |  |
|------|-------------------|--|
| 131  | 11桁<br>まで<br>(オフ) | 市外局番の無い電話番号をダイアルした際、自動的に市外局番を付けて発信します。電話機を設置する地域の市外局番を設定して下さい。<br>「0000」を設定すると本機能はオフになります。 |

### 6.13 発信制限 (既定番号・無料通話)

| 機能番号 | 設定値                     |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
|------|-------------------------|---|------|------|---|----------|---|----------|---|-------------|---|------------|---|-------------------------|---|-------------------------|
| 711  | 0~9<br>(9)              | <p>特定の電話番号への発信を許可・禁止する機能です。</p> <p>下表において、番号 N ≤ 設定値の電話番号には発信することができ、そうでない番号には発信できません。</p> <p>例えば設定値が 2 のときは、110, 119, 118 番には発信できますが、113, 0120, 0800 番には発信できません。</p> <p>本機能で対応できない番号は 6.15 節の個別番号の設定にて許可・禁止を行ってください。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>番号 N</th> <th>発信番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>110 (警察)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>119 (消防)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>118 (海上保安庁)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>113 (故障受付)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0120 で始まる電話番号 (フリーダイヤル)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0800 で始まる電話番号 (フリーダイヤル)</td> </tr> </tbody> </table> | 番号 N | 発信番号 | 1 | 110 (警察) | 1 | 119 (消防) | 2 | 118 (海上保安庁) | 3 | 113 (故障受付) | 4 | 0120 で始まる電話番号 (フリーダイヤル) | 5 | 0800 で始まる電話番号 (フリーダイヤル) |
| 番号 N | 発信番号                    |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
| 1    | 110 (警察)                |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
| 1    | 119 (消防)                |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
| 2    | 118 (海上保安庁)             |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
| 3    | 113 (故障受付)              |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
| 4    | 0120 で始まる電話番号 (フリーダイヤル) |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |
| 5    | 0800 で始まる電話番号 (フリーダイヤル) |   |      |      |   |          |   |          |   |             |   |            |   |                         |   |                         |

### 6.14 発信制限 (既定番号・有料通話)

| 機能番号 | 設定値                           |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
|------|-------------------------------|--|------|-----------------------|---|-----------------|---|-----------------------------|---|----------------------|---|--------------------|---|-----|---|----------------------------|---|-------------------------------|---|------------|---|---------------|
| 712  | 0~9<br>(2)                    | <p>特定の電話番号への発信を許可・禁止する機能です。</p> <p>下表において、番号 N ≤ 設定値の電話番号には発信することができ、そうでない番号には発信できません。</p> <p>例えば設定値が 1 のときは、171 番には発信できますが、それ以降の#xxxx 盤、0180 で始まる番号、0570 で始まる番号などには発信できません。</p> <p>本機能では補いきれない場合は 6.15 節の個別番号の設定にて許可・禁止を行ってください。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>番号 N</th> <th>発信番号 (x は任意の番号を表します)。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>171 (災害用伝言ダイヤル)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>#7119 (各地救急相談センター・救急安心センター)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>#9110 (各地警察総合相談センター)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>#xxxx ↓以下、初期設定では禁止</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1xx</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0180 で始まる電話番号 (呼数集計、テレドーム)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>0570 で始まる電話番号 (全国統一番号、ナビダイヤル)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>104 (番号案内)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>00xx で始まる電話番号</td> </tr> </tbody> </table> | 番号 N | 発信番号 (x は任意の番号を表します)。 | 1 | 171 (災害用伝言ダイヤル) | 2 | #7119 (各地救急相談センター・救急安心センター) | 2 | #9110 (各地警察総合相談センター) | 3 | #xxxx ↓以下、初期設定では禁止 | 4 | 1xx | 5 | 0180 で始まる電話番号 (呼数集計、テレドーム) | 6 | 0570 で始まる電話番号 (全国統一番号、ナビダイヤル) | 7 | 104 (番号案内) | 8 | 00xx で始まる電話番号 |
| 番号 N | 発信番号 (x は任意の番号を表します)。         |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 1    | 171 (災害用伝言ダイヤル)               |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 2    | #7119 (各地救急相談センター・救急安心センター)   |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 2    | #9110 (各地警察総合相談センター)          |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 3    | #xxxx ↓以下、初期設定では禁止            |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 4    | 1xx                           |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 5    | 0180 で始まる電話番号 (呼数集計、テレドーム)    |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 6    | 0570 で始まる電話番号 (全国統一番号、ナビダイヤル) |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 7    | 104 (番号案内)                    |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |
| 8    | 00xx で始まる電話番号                 |  |      |                       |   |                 |   |                             |   |                      |   |                    |   |     |   |                            |   |                               |   |            |   |               |

## 6.15 発信制限 (個別番号)

| 機能番号 | 設定値    |  |
|------|--------|--|
| 721, | 電話番号   | <p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信許可・発信禁止を指定できます。</p> <p>6.13 節・6.15 節の発信制限 (既定番号) で設定しきれない番号に対して発信の許可・禁止の設定ができます。</p> <p>最大で 10 通りの番号を設定できます。</p> <p>本機能の設定は 6.13 節・6.15 節の発信制限 (既定番号) の設定より優先されます。</p> <p>1) 設定モードで 721~720 の機能番号を入力してください。</p> <p>2) 現在の設定値の確認と「番号を入力してください」とアナウンスが流れるので、指定したい電話番号を入力してください。1~11 桁の範囲で入力できます。</p> <p>3) 「3 桁の番号を入力してください」とアナウンスが流れるので数字を入力してください。それぞれの意味は以下の通りです (必ず 3 桁の数字を入力して下さい)。</p> <p>000: 発信禁止</p> <p>001: 発信許可</p> <p>一度設定した番号を消去するには該当機能番号の設定値「0000」を「000: 禁止」に設定して下さい。</p> |
| 722, | 11 桁まで |  |
| 723, | (0000) |  |
| 724, | に続き    |  |
| 725, | 発信禁止   |  |
| 726, | 000    |  |
| 727, | 発信許可   |  |
| 728, | 001    |  |
| 729, | (000)  |  |
| 720  |        |  |

## 6.16 発信番号プレフィックス

| 機能番号 | 設定値                  |   |
|------|----------------------|---|
| 751  | 11 桁<br>まで<br>(0000) | <p>発信する際に電話番号の先頭にこの番号を付けて発信します。</p> <p>「0000」を設定すると本機能はオフになります。</p> |

## 6.17 通話時間制限 (通知音)

| 機能番号 | 設定値                         |   |
|------|-----------------------------|---|
| 752  | 0000<br>~<br>9959<br>(0000) | <p>通話時間制限に近づいたことを通知する時間を設定します。</p> <p>通話開始後、設定した時間に達すると受話器から「ブブブ...」という通知音が鳴ります。</p> <p>分(2 桁)+秒(2 桁)を設定して下さい (例: 4 分 30 秒の場合、0430)。1 秒刻みで最大 99 分 59 秒まで設定できます。</p> <p>「0000」を設定すると本機能はオフになります。</p> |



## 6.18 通話時間制限 (強制切断)

| 機能番号 | 設定値                         |   |
|------|-----------------------------|---|
| 753  | 0000<br>～<br>9959<br>(0000) | 通話時間制限を設定します。<br>通話開始後、設定した時間に達すると通話が切断されます。<br>分(2桁)+秒(2桁)を設定して下さい(例:4分58秒の場合、0458)。1秒刻みで最大99分59秒まで設定できます。<br>「0000」を設定すると本機能はオフになります。<br>多少の誤差が生じる場合がありますので、制限したい時間よりも1,2秒短めに設定することをお勧めします。 |

## 6.19 再起動

| 機能番号 | 設定値 |  |
|------|-----|--|
| 000  | 無し  | 本製品を再起動します。本製品の電源をオフ・オンするのと同じ動作です。<br>本製品の動作に何らかの異常が生じた場合に使用して下さい。<br>各種設定値は消去されません。 |

## 6.20 設定初期化

| 機能番号 | 設定値 |  |
|------|-----|--|
| 999  | 無し  | 本製品の各種設定値が工場出荷時の状態(各表の「初期値」)に初期化され、本製品が再起動します。<br>本製品の動作に何らかの異常が生じた場合に使用して下さい。 |

## 6.21 パスワード

| 機能番号 | 設定値                     |  |
|------|-------------------------|--|
| 199  | 0000～<br>9999<br>(0000) | パスワードを4桁の数字で設定します。<br>パスワードを忘れると再設定は出来ませんのでご注意ください。<br>設定値が0000のときにはパスワード非設定となります。 |

## 6.22 バージョン番号確認

| 機能番号 | 設定値 |  |
|------|-----|--|
| 001  | 3桁  | ファームウェアのバージョン番号をアナウンスします。<br>読み上げられる3桁の番号(xyz)が、取扱説明書の最後に書いてある番号(ver. FOMA-x.yz)に対応しています。<br>任意の数字を一桁入力するとアナウンスを終了します。 |

## 7 付録

### 7.1 仕様

|                 |  |
|-----------------|--|
| 電源              | DC12V (AC アダプタより供給)  |
| 消費電力            | 待機時 2.1W 最大 6.6W (FOMA 充電時を含む)   |
| 本体寸法            | 120mm (W) × 100mm (D) × 39mm (H) 突起部含まず<br>FOMA ケーブル接続時 160mm (D)                    |
| 本体重量            | 約 150g   |
| 動作環境            | 温度 0°C ~ 70°C<br>湿度 30% ~ 90%RH (結露なきこと)   |
| 内線電話インタフェース     | RJ-11 ジャック (6 極 2 芯) × 1<br>NTT アナログ回線規格に準拠 (極性反転信号対応)                               |
| 適合する内線電話機の仕様    | 日本国内向け仕様の通話用装置 (平衡 600Ω 端末)<br>プッシュホン電話機・ダイヤル電話機に対応<br>無電源タイプの電話機 (黒電話や家庭用電話機) も使用可能 |
| ナンバーディスプレイ      | 対応   |
| FAX・データ通信 (モデム) | 使用不可   |
| DTMF 信号         | 使用可 ただし通話先が携帯電話 (スマホを含む) の場合、通話先から DTMF 信号が送信されない場合あり (キャリア側の仕様)                     |
| 接続可能な携帯電話の数     | NTT ドコモ FOMA 携帯電話 1 台  |
| 付属品             | 取扱説明書<br>AC アダプタ (DC12V 500mA, 電気用品安全法 (PSE マーク) 対応)<br>携帯電話接続ケーブル                   |

### 7.2 保証について

|      |   |
|------|---|
| 保証期間 | 購入後 1 年間<br>ただし、使用上の注意 (第 1 章) に従い使用された場合に限りです。 |
|------|---|

本製品についてのお問合せは、販売会社もしくは当方までお願い致します。

浜谷製作所

電子メール : [info1@ttrmkr.sakura.ne.jp](mailto:info1@ttrmkr.sakura.ne.jp)

インターネットウェブサイト : <https://ttrmkr.sakura.ne.jp/>



